

# 雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

## みなさんは『江戸しぐさ』という言葉をご存知でしょうか？

文部科学省が改訂を行った、小学校の指導要綱で特別の教科「道徳編」では『思いやり』について、「江戸しぐさ」について紹介していました。

これは、江戸商人のリーダー達の考え方、生き方、身のこなし方などをいったものです。当時、江戸の町は全国各地から言葉の違いも生活習慣も異なる人々が集まる異文化の交流都市でした。そんな環境の中で、商人たちが大切にしていた考え方が「人とつながりの中に自分がある」というものでした。

そこから生まれたのが当時、「商人のしぐさ」「繁盛のしぐさ」と呼ばれ、今「江戸のしぐさ」と呼ばれるものです。

しぐさとは、ふつうは「仕草」と書きますが、江戸しぐさの場合は「思草」と書きます。「思」は、思いやり。「草」は行為、行動を意味します。

つまり、思草とは、その人の思いやりがそのまま行いになったものなのです。

代表的な「江戸しぐさ」をご紹介しますので、ご参考にしてみてください。

「傘かしげ」は、傘をさした人同士が、すれ違う時のしぐさです。  
相手をぬらさないように、互いの傘を軽く傾けます。

「かた引き」は、狭い道で人とすれ違う時しぐさです。  
互いに右肩を後ろに引いて、相手にぶつからないようにします。

「こぶし浮かせ」は、複数の人が一緒に座るときのしぐさです。  
一人でも多くの人が座れるように、みんなが少しずつ腰を上げて、場所を作ります。

「お勤めしぐさ」は、人が見ているから良いことをするのではなく、誰も見ていなくても、誰かのためになることをする心構えのことです。

違う立場の人が、互いに気持ちよく暮らしていくための知恵が込められているとは思いませんか……

## 1. 12月運営会以降の活動実績

12月15日(土) 19名 クヌギ林/池ノ上玉切り材搬出、炭小屋整理/清掃、友の会望年会用薪作り、午後/運営会、しめ縄作り、忘年会(16:00~18:00)

12月16日(日) 4名 森を守るボランティア体験担当(伐倒作業)、

12月19日(水) 11名 炭小屋産廃片付け/センターへ搬入、材木置き場/樋落ち葉清掃、SF向け木工、

12月22日(土) 16名 センター/友の会望年会、ZFC通信印刷/発送、ZFC年内活動最終/納会

## 2019年

1月 5日(土) 14名 新年活動開始、たたら製鉄準備(炭切り、砂鉄洗浄他)、燻炭作り、木工

1月 9日(水) 10名 炭小屋入り口門柱用木彫りフクロウ加工、SF向け木工

1月12日(土) 16名 炭小屋裏ヒノキ伐倒、竹林伐採下見、製材、花炭作り、午後/保安全管理フォローアップ研修(6名出席)

1月16日(水) 14名 門柱用木彫りフクロウ取り付け、SF向け木工

## 2. 連絡、確認、提案(協議結果、下記の通り決定した)

### (1) 「ミニたたら体験」準備状況の説明(関根さん)

- ・本日たたら炉の基礎部鉄板を設置、レベル出しも終え準備は順調に進んでいます
- ・よって、築炉は先月の運営会で説明したように1月26日(土)から始めたいとの提案があり、1/26を築炉初日、2/2を二日目とする。
- ・「ミニたたら体験」の予備日を翌週の2/23とすること明日の定例会で提案する。
- ・「ミニたたら体験」の当日(2/16)、ZFCメンバーの集合は08:30とする。

### (2) 2月運営会日時の変更提案(第3土曜16日はミニたたら体験と重なるため、23/土へ)

- ・異議なく、23日(土)に一週間繰り延べとする。

### (3) 三月実施予定の新ドラム缶窯炭焼き内容について、最終確認(星隈さん説明)

- ・炭材は竹材とし、1/26は時間的制約から除伐だけで搬出は別の日に、との提案があり翌週の2/2を搬出作業とした。

### (4) 意見集約、新年度(2019/4~)に希望の作業/イベント?

- ・別途末尾に集約

### (5) シイタケ菌のホダ木への打ち込み予定(赤羽さん説明)

- ・作業は人数的にも土曜日にこだわらず水曜日でも可能との提案があり、2/20(水)の作業とした。

### (6) 1/20友の会定例会/理事会出席者確認

- ・小島、関根、吉田、片岡(定例会のみ) 敬称略

## 3. 1月下旬、2月活動予定(上記2項を考慮し、一部訂正/追記した)

1月19日(土) 炭小屋裏伐倒或いは玉切り・引き揚げ、午後/運営会

1月20日(日) 友の会/定例会・理事会

1月23日(水) 炭小屋作業/ 当日決定、SF準備、

1月26日(土) 竹林除伐、ミニたたら築炉、ZFC通信印刷/発送、午後勉強会(冬季に於ける樹木の見分け方?)

1月30日(水) 炭小屋作業/ 当日決定、SF準備、

2月 2日(土) 除伐竹搬入、ミニたたら築炉(二日目)、利用推進会議後保安全管理懇談会  
炭小屋裏斜面伐倒 (15:00~ )

2月 6日(水) 炭小屋作業/ 当日決定、SF準備、

2月 9日(土) 炭小屋裏伐倒材玉切り引き揚げ、ドラム缶窯炭材作り、ミニたたら築炉(予備日)

2月13日(水) 炭小屋作業/ 当日決定、SF準備、

**2月16日(土) 30周年記念 友の会主催「ミニたたら体験」実施担当**

2月20日(水) シイタケ菌ホダ木への打ち込み、SF準備、

- 2月23日(土) 企業除伐体験(株)アペックス社CSR)対応、炭小屋裏伐倒材玉切り引き揚げ、ZFC 通信印刷/発送、午後/運営会、勉強会(保安全管理区域と管理法)  
「ミニたたら体験」予備日  
2月27日(水) 炭小屋作業/ ドラム缶窯炭材作り、SF準備、

#### 4. (4)意見集約、新年度(2019/4~)に希望の作業/イベント?

幾つかの提案/コメントがあったが主な提案は、下記の通り。

- イ)「観察の森入口ゲート(鉄扉)からセンターまでは、来園者にとって主要通路のため通路両脇の除草をもっと徹底的に行っては?、、必要ならZFCが対応しても、、」とのコメントに対し、  
・センター回答:「現状は保安全管理計画に沿って除草しているため直ちに変更することは出来ない。保安全管理懇談会(年二回開催)の席で提案/討議して頂きたい」
- ロ)「管理区域⑦の除伐が残っており、次年度には終わらせるよう計画して欲しい」  
・次年度の実行計画に組み込むこととする。
- ハ)「夏場のクヌギ林は日照不足が著しい。日陰を作っている“アキアカネの丘”との境界線にある大径木をもっと除伐してはどうか?」との提案に対し、  
・センターと協議結果、SF終了後行政、センター、ZFCの三者で現場調査を行い、今後の方向性を決めることと成った。
- ニ)「これまでZFCが担当した体験活動のアンケート結果を見て、来園者の意向を取り入れて見る方法もあるのでは?、、、、」  
・保存中のアンケート結果を精査することとした。
- ホ)「基本的に外来樹木も除外対象なら、ZFCの管理区域にこだわらず園内の外来樹木の伐倒もZFCの作業に組み込んで?、、」との提案に対し、  
・センター回答:「現在も、必要により枯れ木、危険木の除伐を依頼しているので、当提案は今後の検討課題としたい」
- ヘ)「市内で炭焼きを実施しているボランティアグループは限られていると思う。ZFCのアイデンティティーである“炭焼き”は実施ローテーションを組んで行い、もっと外部へPRしては?、、」  
・次年度の実行計画に反映したい。
- ト)「以前にも提案した、電動ウインチ固定用アンカー(可動式)を作って欲しい。」  
・次年度の実行計画に組み込むこととする。
- チ)その他、「ログソール設置下屋の支柱取り換え」、「炭小屋屋根塗装」、、、、検討事項とする。